

# 第5学年西組 道徳科学習指導案

学習指導者 西吉 亮二

## 1 主題名 広い心をもって [B 相互理解, 寛容]

### 2 主題について

本主題における相互理解、寛容とは、自分の考えや意見を相手に伝えるとともに、謙虚な心を持ち、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することである。これは、異なった意見や立場をもつ者同士が互いを尊重し、広がりや深まりのある人間関係を築くためにも欠かせないことである。また、寛大な心をもって他人の過ちを許すことができるのは、自分も過ちを犯すことがあると自覚しているからであり、自分に対して謙虚であるからこそ他人に対して寛容になることができる。

5年生の段階においては、自分のものの見方や考え方についての認識が深まることから、相手のものの見方、考え方との違いをそれまで以上に意識するようになる。また、この時期には、考えや意見の近い者同士が接近し、そうでない者を遠ざけようとする行動が見られることがある。そのような時期だからこそ、相手の意見を素直に聞き、なぜそのような考え方をするのかを、相手の立場に立って考える大切さに気付かせたい。指導に当たっては、広い心で自分と異なる意見や立場を尊重することで、違いを生かしたよりよいものが生まれるといったよさに気づき、相手の過ちなどに対しても、自分にも同様のことがあることとして謙虚な心、広い心で受け止め、適切に対処できるように指導したい。

### 3 教材について

(1) 教材名 『銀のしょく台』(学研：みんなの道徳 5年)

#### (2) あらすじ

パンを一つ盗もうとしたばかりに19年も刑務所に入れられていたジャン。4日前によく刑務所から出たジャンは目的地を目指して歩き続けていた。ジャンは疲れ切って、宿に泊まろうと、宿屋を何軒も訪ねたが全て断られ、途方にくれていた。そんな時、ミリエル司教の家に泊めてもらうことができ、その上、温かい食事やベッドまで用意してもらった。しかし、その晩、ジャンは銀の食器を盗んで逃げ出した。ジャンが警察によって連れ戻されると、司教は食器はあげたのだと嘘の証言をし、さらには、銀のしょく台まで手渡した。その証言のおかげでジャンは警察に許された。

### 4 目指す子供の姿と子供の実態について

#### (1) 目指す子供の姿

#### 【互いに磨き合い、学び続ける子供の姿】

謙虚な心を持ち、自分と異なる意見や立場を尊重することが大切であるという理解を基に、相手の過ちに対して広い心で関わるとはどういうことなのか、考えたことを伝え合い、友達の考えに耳を傾けながら、広い心についての考えを深めていく。そして、自分の生活を見つめ、広い心で他者と関わろうとしている。

他者と関わる時、自分と異なる意見や立場を大切にしなければいけないという思いをもっていても、人は自分の立場を守るために、つい他者の失敗や過ちを一方向的に非難したり、自分と異なる意見や立場を受け入れようとしなかったりする弱さをもっている。本教材では、司教がジャンを許した場面を取り上げ、自分なら許すかどうか考え、その理由を伝え合う。例えば、「僕は許せないよ。せっかく泊めてあげたのに恩を仇で返してるから」「私も許せない。ここで許したらジャンのためにもならない」等と交流することで考えた理由が多様に表出されるだろう。また、銀のしょく台を差し出した司教の思いを考えていく。例えば「人は失敗することがあるから今回の失敗も許そうと思ったんじゃないかな」等と自分も過ちを犯すことがあると自覚したり、「司教は、お金をとってくださいと言った、ジャンの人柄を分かっていたからじゃないかな」等と相手の言葉や行動からその人柄や思いにまで目を向けようとしたりし、広い心で相手の立場や意見を受け入れたことについて友達と伝え合いながら理解を深めていく。

そして、今の自分は広い心で相手の立場や意見を受け入れようとしているだろうかと自分自身を見つめ直し、これからは広い心で他者と関わることを大切にしようとする子供の姿を目指したい。

## (2) 子供の実態

メタ認知に関わる実態調査から自分の行動を振り返ることが苦手な子供が34名中7名いることが分かった。この子供たちは教材文で読んだことを自分のこととして捉えにくいと考えられる。Q-Uによる調査からは、9名の子供たちが学校生活に不安等を感じており、その中の3名は友達と話し合う活動に取り組みにくい様子が見られる。ただし、話し合うグループのメンバーによっては、友達と同じ考えであることを伝えたり、周りの友達から尋ねられると自分の考えを表現したりすることがある。

## 5 主張点

### (1) 教材分析と主発問

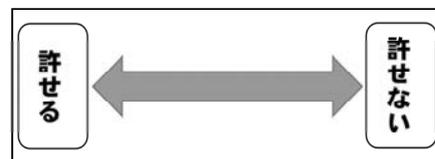
ミリエル司教の慈悲深い行動を受けたのにも関わらず、銀の食器を盗んだジャン。警察に押さえられたジャンに対し、司教は厳しい態度を取らなかった。それどころか、ほほえみかけ、さらには銀のしょく台まで差し出し、ジャンの更生を願い、信じていることを伝えた。ジャンは、見た目や行動だけにとらわれず、自分を理解し、信じようとしてくれる人がいるのだと気づき、そのような人のためにも正しい道を歩もうと心を動かされたのだと考える。そこで主発問を『(銀の食器を盗まれたのに) それでも、銀のしょく台を差し出した司教にはどんな思いがあったのかな』とし、司教が広い心で相手を受け止めた時の思いを考えさせることで、ジャンの心情がどのように変化したか捉えさせるきっかけとしたい。

### (2) 子供と教材をつなぐ働きかけ〈導入〉

事前に教材文を読み感想を書かせておく。その中で、ジャンの行動を許した司教の行動に対して疑問をもつ子供が多くなることが予想される。そのような登場人物の行動に着目している子供の感想を本時の導入部分で取り上げ、全体に広げることで、ジャンを許した司教はどのような思いをもっていたのかについて考えられるようにする。【心のハテナ】

### (3) 二つの対話を促すための働きかけ〈展開〉

多くの子供が「助けてあげたのに、恩を仇で返すのはおかしい」という思いをもっていると思われる。そのような思いをもつのは、「これだけ自分がしてあげたのだから、相手も恩を返してくれるもの」という自分の枠組みで事象を見ているからである。そのような枠組みで見ていることに気づき、広い枠組みで関わる大切さ



【心メーター】

に目を向けるため、銀の食器を盗まれた時、自分なら「許せる」か「許せない」という対立軸を設定する。子供たちにも同様の対立軸を道徳ノートに書かせ自分の考えの位置に丸を付けるよう指示する。自分が丸を付けた位置とその理由について話し合うことで、多様な立場を実感するだろう。その後、主発問をすることで、「人は失敗することがあるから今回のジャンの失敗についても許そうと思ったんじゃないかな」等と自分も同じように過ちを犯すことがある、だからこそ相手の過ちを広い心で許そうとすることや、「お金をとってくださいと言った、ジャンの人柄を分かっていたからじゃないかな」等とジャンの人柄や立場にまで目を向けることといった広い枠組みでジャンに関わろうとしたからこそ、司教が許したのだと理解させたい。その際、枠組みの広がりを見覚えるよう板書上に示す。【心メーター・枠組みの広がり】

### (4) 学び続ける意欲を育てる自己評価の工夫〈終末〉

終末では、道徳ノートに振り返りを記述させる。その際、板書を見ながら振り返るよう助言することで、本時の学んできたことを板書を基にゆっくりと見つめ一時間の学びを内省できるようにする。そして、「これまでの自分」「これからの自分」「友達のすてきな考え」の3観点で振り返らせることで、本時に学んだことと結び付けながら自らのよさや課題に目を向けたり、友達のすてきな考えを自分に生かそうとしたりしていこう。さらに、授業後、子供たちが記述した振り返りに教師が励ましのコメントを記述することで、自らのよさや課題を大切にしていこうとするだろう。【道徳スコープ】

6 本時の学習指導

(1) ねらい

銀の食器を盗んだジャンに対して、罪を許し、銀のしょく台まで手渡したミリエル司教の思いを考えると、広い心で相手と関わることへの理解を深め、自らの生活に生かそうとする態度を養う。

(2) 学習指導過程

学習活動	主な子供の意識					
<p>1 子供たちの感想を振り返り、学習課題を設定する。 【心のハテナ】</p>	<p>「銀のしょく台」を読んできたよ。司教はすごい。どうして怒らなかったのかな。ジャンは、お話の後、心を入れかえたのかな。</p> <p>ジャンを許した司教にはどんな思いがあったのかな。</p> <p style="text-align: center;"><b>相手を許すにはどんな思いが大切なのだろう</b></p>					
<p>2 ジャンを許したミリエル司教の心情について考える。</p> <p>(1) 自分だったら許せるか考える。 【心メーター・枠組みの広がり】</p> <p>(2) 銀のしょく台を与えた司教の思いについて考える。</p>	<p>刑務所から出てきたばかりのジャンに温かい食事やベッドまで用意した司教はすごいな。</p> <p>ジャンはお金を払おうとしたけれど司教は受け取らなかったね。</p> <p>優しくしてもらったのに銀の食器を盗むなんて許せないよ。</p> <p>自分だったら許せるかな。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p><b>許せない</b></p> <p>司教にここまで、優しくしてもらっているのに悪さをするなんておかしいよ。恩をあたで返しているよ。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p><b>どちらでもない</b></p> <p>許すことは大切だと思うけれど、高価な銀の食器を盗まれて許せないという気持ちもあるよ。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p><b>許せる</b></p> <p>失敗は誰にでもあるから、ここで許してあげることがジャンのためになると思うよ。</p> </td> </tr> </table> <p>ジャンを許せないと考える人が多くいるな。</p> <p>やっぱり、ジャンを許した司教はすごいね。</p> <p>どうして司教は許せたんだろう。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>ジャンが根っからの悪人じゃないと感じたからじゃないかな。</p> <p>ジャンの心には、まだ善い心が残っていると信じたんだよ。</p> </td> <td style="width: 50%; padding: 5px;"> <p>失敗しない人はいないという思いがあったから許したんだよ。</p> <p>人は過ちをしてしまうものだと分かっているから許したんだよ。</p> </td> </tr> </table> <p>司教は、失敗はあるものだという思いだけでなく、ジャンの人柄を見て、これから更生していくと信じたから銀のしょく台まで渡したんだね。</p> <p>司教は、自分がこれだけしてあげたんだから、何か返してもらえとかそんな思いで関わったのではないんだね。</p>	<p><b>許せない</b></p> <p>司教にここまで、優しくしてもらっているのに悪さをするなんておかしいよ。恩をあたで返しているよ。</p>	<p><b>どちらでもない</b></p> <p>許すことは大切だと思うけれど、高価な銀の食器を盗まれて許せないという気持ちもあるよ。</p>	<p><b>許せる</b></p> <p>失敗は誰にでもあるから、ここで許してあげることがジャンのためになると思うよ。</p>	<p>ジャンが根っからの悪人じゃないと感じたからじゃないかな。</p> <p>ジャンの心には、まだ善い心が残っていると信じたんだよ。</p>	<p>失敗しない人はいないという思いがあったから許したんだよ。</p> <p>人は過ちをしてしまうものだと分かっているから許したんだよ。</p>
<p><b>許せない</b></p> <p>司教にここまで、優しくしてもらっているのに悪さをするなんておかしいよ。恩をあたで返しているよ。</p>	<p><b>どちらでもない</b></p> <p>許すことは大切だと思うけれど、高価な銀の食器を盗まれて許せないという気持ちもあるよ。</p>	<p><b>許せる</b></p> <p>失敗は誰にでもあるから、ここで許してあげることがジャンのためになると思うよ。</p>				
<p>ジャンが根っからの悪人じゃないと感じたからじゃないかな。</p> <p>ジャンの心には、まだ善い心が残っていると信じたんだよ。</p>	<p>失敗しない人はいないという思いがあったから許したんだよ。</p> <p>人は過ちをしてしまうものだと分かっているから許したんだよ。</p>					
<p>3 広い心で相手と接することについての自分の考えを書き、本時を振り返る。 【道徳スコープ】</p>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>これまでは、司教と違って、してあげたら相手も同じように返してくれると思っていたよ。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>難しいと思うけれど司教みたいに、相手の後ろにある思いや人柄まで考えて友達と関わっていききたいな。</p> </td> <td style="width: 33%; padding: 5px;"> <p>〇〇さんが言った、やったことだけで人を判断しないということがとても大切だと思ったよ。</p> </td> </tr> </table>	<p>これまでは、司教と違って、してあげたら相手も同じように返してくれると思っていたよ。</p>	<p>難しいと思うけれど司教みたいに、相手の後ろにある思いや人柄まで考えて友達と関わっていききたいな。</p>	<p>〇〇さんが言った、やったことだけで人を判断しないということがとても大切だと思ったよ。</p>		
<p>これまでは、司教と違って、してあげたら相手も同じように返してくれると思っていたよ。</p>	<p>難しいと思うけれど司教みたいに、相手の後ろにある思いや人柄まで考えて友達と関わっていききたいな。</p>	<p>〇〇さんが言った、やったことだけで人を判断しないということがとても大切だと思ったよ。</p>				

提 案 授 業 1 指 導 案

### (3) 授業の詳細

#### 本時に入るまでの子供の意識 学習活動1

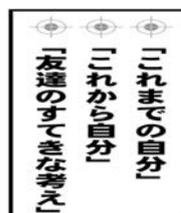
子供たちは、事前に家庭で教材文を読み、感想と相手を許すときに大切な心は何かを道徳ノートに書いている。そして事前のアンケートを基に、許すことは大切なことだという思いを多くの子供がもっていることや、友達になかなか許してもらえなくて、困った経験があることを想起させて教材と自分とのつながりを感じさせたい。しかし、許すことは大切だと思っけていても、なかなか許せなかった経験があったり、許さなくてもよいのではないかと考えたりしている子供もいるだろう。したがって、感想には「優しく接してきたジャンに銀の食器を盗まれたミリエル司教はどうして許せたのだろう」といった、ジャンを許した司教についての疑問が多くなると考える。司教が許した思いや、銀のしょく台まで渡したことに着目した感想を取り上げ、学習課題を設定する。【心のハテナ】

#### 学習活動2

司教がどのような思いでジャンを許し、銀のしょく台まで渡したのかを考えることが大切である。そこで、自分だったらジャンを許せるかどうかを問い、道徳ノートに心メーターを書かせ、どのくらい許せるか、自分が考えた位置に丸を付けさせる。その際、丸を付ける位置を迷った子供については迷った場所と、その場所にしようとした理由も記述させる。そして、教師が黒板の心メーターを指しながら、自分はどの位置なのかを全体に問い、挙手させることで多様な考えがあることを視覚的に捉えさせる。許せないと考えた子供が「あんなに優しく接してあげたのに、自分の物を盗まれたら絶対に許せないよ。それなのに〇〇さんはどうして許せると思ったの」と自分と違う考えの友達に進んで理由を尋ねたり、同じ許せない（許せる）という考えでも、互いの理由を聞き合ったりし、友達と自分の考えの共通点や相違点を明らかにしていく。その際、人間関係やQ-Uの結果等を踏まえた座席の配慮を行っておくことで、子供同士の話し合いを行いやすくする。その後、ジャンを許した司教の思いを考えられるように、主発問である『(銀の食器を盗まれたのに) それでも銀のしょく台を差し出したのは司教にどんな思いがあったのかな』と問うことで、銀のしょく台まで差し出した司教の思いを考えさせる。道徳ノートに自分が考えたことを記述させ、班で交流した後、全体で交流をする。全体交流の際、「どうしてそう思ったの」と教師が問うことによって、自分の考えの理由を見つめていく。周りの子供たちも、自分の考えに対して「自分はどうしてそう考えたのか」と自らに問い、考えを深めていこう。さらに、表出された考えを、心メーターの「許せる」よりも外側に板書し、司教は、許すかどうかという見方でジャンと関わっていたのではなく、ジャンがどのような人柄で、どんな思いだったのかを見つめている、つまり「してあげたからしてくれるのが当たり前だ」という自分の枠組みではなく、相手の立場や意見を理解しさらに広い枠組みで関わっていたことが視覚的に捉えられるようにする【心メーター・枠組みの広がり】

#### 学習活動3

道徳の授業の振り返りでは、「これまでの自分」と「これからの自分」を見つめるとともに、授業の中で見つけた「友達のすてきな考え」について振り返ることを習慣化している。そして、それらについて道徳ノートに記述した後、全体で発表するように促す。これまでに友達と関わるときに広い心で関わられたことやできなかったことなどが発表された際、教師は「他のみんなも同じような経験はありますか」と子供たちに問いかけ、子供たちの経験とつながるようにする。これからの自分が頑張りたいことについて発表された際には、授業前にとったアンケートとつなぐことで、自分の考えの深まりを実感できるようにする。【道徳スコープ】



### (4) 評価

広い心で接することは、相手の立場や意見を受け入れることであると理解し、自分の生活を振り返り、広い心で他者と接することについての自分のよさや課題を実感するとともに、今後の自分の生活での行動を考えている。【方法：発言・道徳ノート】